

阿蘇海環境づくり協働会議 平成 28 年度の取組

1 清掃活動等の実施（行政・地域団体等が協働実施）

●夏の阿蘇海清掃（海藻類・漂着ゴミの回収）

地域住民が中心となって海岸漂着ゴミを除去

<宮津市府中地区：漂着ゴミ回収>

【実施日】7月6日（水）

【場 所】天橋海岸～大垣海岸

【参加者】約60名

【回収量】約4.8t

<与謝野町男山区：アオサ回収>

【実施日】7月17日（日）

【場 所】岩滝海岸

【参加者】約100名

【回収量】4tトラック×2台、2tトラック×3台

●秋の清掃活動

<与謝野町東町区>

【実施日】9月11日（日）

【場 所】区内護岸及び歩道部

【参加者】約90人（浜町区60人、東町区20人ほか）

<阿蘇海清掃：宮津市府中区>

【実施日】10月13日（木）

【場 所】天橋海岸

【参加者】約50人

【回収量】トン袋約60袋

<阿蘇海清掃：宮津市府中区>

【実施日】10月19日（水）

【場 所】天橋海岸

【参加者】約50人

【回収量】トン袋約60袋

※10/13分と合わせて計約12トン（+不燃約130kg）

●地元主体の清掃活動（与謝野町東町区）

【実施日】5月29日（日）

【場 所】区内護岸及び歩道部

【参加者】約60人（浜町区、東町区）

●第7回天橋立運河「かきがら」撤去大作戦>

【実施日】11月17日（木）

【場 所】文珠水路付近

【参加者】約50人

【回収量】約7t



※赤…新規事業

●NPO 国際ボランティア学生協会 (IVUSA) と連携した阿蘇海清掃

大学生ボランティアを受け入れ、より大規模な清掃活動を実施。また、活動を通じて地元住民との交流を深め、新たな取組の場づくり・環づくりを推進

<6 月カキ殻回収・資源化事業>

- 【実施日】 6 月 11 日 (土)
- 【内 容】 カキ殻回収：約 2t (岩滝海岸)
カキ殻の資源活用 (京丹後ふるさと農園)
- 【参加者】 IVUSA：15 名
与謝野町婦人会他：11 名

<8 月カキ殻回収> ※大学生 103 人参加

- 【実施日】 8 月 28 日 (日) ~31 日 (水)
- 【内 容】 カキ殻回収 (文珠水路)
- 【参加者】 28 日約 151 名 (うち海洋高校 36 名)
29 日：約 112 名
30 日：約 121 名
31 日：約 113 名
- 【回収量】 約 22.2 t
- 【交流会】 8/30：約 123 人参加 (宮津あさり組合、後野区含む)

<10 月野田川清掃>

- 【実施日】 10 月 8 日 (土)、9 日 (日)
- 【内 容】 川のゴミ拾い：約 320kg
- 【参加者】 IVUSA：15 名
後野区、与謝野町婦人会、天橋立を守る会他：18 名

<11 月カキ殻×竹炭土壌改良資材づくり>

昨年に続き、IVUSA と交流のできた京丹後市野間地区において、竹炭 (放置竹林対策) とカキ殻を混合した土壌改良資材づくりを実施

- 【実施日】 11 月 28 (土) ~29 日 (日)
- 【参加者】 野間地区：6 名、宮津あさり組合：1 名、IVUSA：16 名
- 【内 容】 カキ殻と竹炭を混合した土壌改良資材づくり

<2 月阿蘇海フェア> ※大学生 107 人参加

- 【実施日】 2 月 24 日 (金) ~27 日 (月)
- 【内 容】 ①2/24~25 IVUSA 主体のカキ殻回収
②2/26 カキ殻クリーン大作戦 in 天橋立
③2/27 広がる輪 ~中学生と大学生の意見交換会~
④2/25 文珠産天然マガキ新商品開発プロジェクト
- 【参加者】 ①各日約 120 人 (うち地元 10~15 名)
②地元約 100 名 (海洋高校 52 名含) + IVUSA：107 名
③橋立中学校 1 年生 73 名 + IVUSA：105 名
④丹後天橋立ええもんおかみの会等 5 名 + IVUSA：5 名
- 【回収量】 約 60 t (カキ殻)

大学生延べ 256 名参加。カキ殻約 85 トン回収



※赤…新規事業

2 啓発活動の推進

●「阿蘇海の日」事業（市町主催事業）

2月26日を「阿蘇海の日」として事業を実施

【宮津市】

①事例発表・講演会・展示

- 日時：2月25日（土）13:30～15:30
- 場所：みやづ歴史の館
- 参加者：44人
- 内容：事例発表、講演会、展示コーナー

②阿蘇海周遊体験学習会

- 日時：2月26日（日）10:30～11:30
- 場所：阿蘇海（文珠汽船乗り場発着）
- 参加者：41人
- 内容：阿蘇海に親しみ、環境について学ぶ学習会

【与謝野町】

与謝野町の環境未来2017

- 日時：2月26日（日）13:30～16:30
- 場所：野田川わーくぱる
- 参加者：約150人
- 内容：基調講演、取組発表、展示・体験ブース



●環境ポスター掲示による啓発活動（市、町）

地域の小学生を対象に環境改善絵画コンクール実施。入賞作品をパネルやポスターにして、地域内で掲出するなど意識啓発も実施

- 応募数 宮津市：6小学校 66点
与謝野町：8小学校 198点



●環境啓発運動（海洋高校）

阿蘇海流域の環境について、視聴参加の小学生や一般の方々を対象に、研究の紹介やクイズ形式で環境改善を啓発

- 2月5日（日）丹後環境シンポジウム



3 環境学習の推進

●環境学習のサポート（NPO、府、市）

NPOや行政職員による小中学校の環境学習サポート。阿蘇海流域の環境、野田川のサケ、生き物調査等

- 5月25日（水）加悦中学校3年生（NPO）
- 7月15日（金）府中小学校4年生（振興局）
- 8月5日（金）川の学校（NPO）
- 1月12日（木）与謝小学校（海洋高校）
サケの学習「サケの生態と大切さ」（右写真）



※赤…新規事業

●アマモ場造成研究（海洋高校）

- 5月10日（火）阿蘇海アマモ場、宮津湾アマモ場調査
- 6月8日（水）阿蘇海アマモ場調査、宮津湾アマモ生殖株採取
- 11月24日（木）阿蘇海試験区でのアマモ播種試験（約3万粒播種）



●アオサ・カキ殻肥料化試験（橋立中学校、NPO）

- 阿蘇海で回収したアオサとカキ殻の肥料化試験。
トマト栽培により施肥の効果を測定し、暮らしの中での身近な自然との関わりについて学習
- 6月22日（水）アオサ回収、トマト植付



●地域を知る環境学習バスツアー（町、みらいふ）

- 世代を超えて環境を見つめ直し、豊かな環境と調和した暮らし環境を守り伝える活動の輪を広げることがを目的に実施。
- 実施日：11月5日（土）
 - 学習内容：天ぷら油回収、自然循環農業、サケの遡上など
 - 参加者：約30人



4 農業者関係の取組

●自然循環農業（京の豆っこ肥料）の推進（町）

- 豆腐工場からでたおからを作った「京の豆っこ肥料」を推進し、化学肥料から有機質肥料にすることで、与謝野町ブランドを確立するとともに、阿蘇海等環境に優しい農業の促進を図る。



5 水産事業者の取組

●「天橋立育成あさり」の育成・販売（漁業者）

- 平成24年度までに開発した育成技術により、身入りが大きく栄養分の豊富なアサリを育成。阿蘇海の水質浄化にも貢献



●「文珠産天然生かき」の出荷（漁業者）

- 阿蘇海の豊富な栄養に育まれた天然カキは、はち切れんばかりに身入りが良く高品質。新たな特産品開発だけでなく、観光振興、景観保全等一石三鳥の取組を目指す。
- 3月10日～3月末まで出荷予定。

6 地域の主体的な活動

●サケのふるさとプロジェクト

- 野田川に遡上するさけの見守り活動を通じて、周囲の環境保全や、暮らしと自然との関わり方を考える。



<川の学校（後野区、NPO）>

川遊びを通じて、野田川に遡上するサケや生き物とその環境について学習

- 実施日 8月5日（金）
- 場 所 後野公民館付近
- 参加者 約40人（後野区、福島市、大阪の子ども達）



●白砂復活大作戦（天橋立を守る会）

近年、砂浜を浸食する雑草をボランティア除草。白砂青松の美しい天橋立景観の保全に努める。

- 実施日 5月22日（日）
- 参加者 約80名



●ちょこボラステーション（NPO、市、町）

いつでも誰でも気軽に「ちょこっとボランティア」ができるようステーションを阿蘇海周辺6カ所に設置。市町指定ゴミ袋の配布、回収ゴミの一時預かりを開始。回収ゴミの処分場への運搬は市町が行う。

- 吉野茶屋（文珠）
- 一ノ宮汽船乗り場（府中）
- 阿蘇シーサイドパーク（岩滝）
- クアハウス岩滝
- 与謝野町役場野田川庁舎
- 与謝野町役場加悦庁舎



●天ぶら油の回収（NPO、市、町）

流入負荷削減の取組として実施。市町庁舎のほか、公民館、観光施設、保育所にも回収ボックスを設置

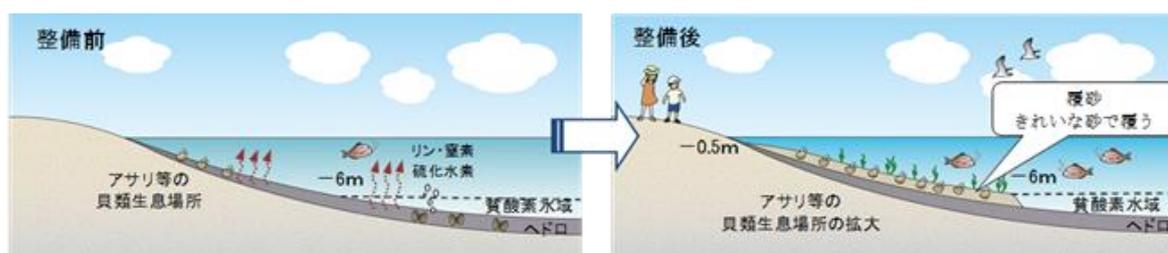
7 行政による取組

●専門家研究会の開催（振興局）

- 日程：11月25日
- 内容：阿蘇海の水質改善に向けた今後の取組等について協議

●阿蘇海シーブルー事業（丹後土木事務所）

平成28年度までに約18.23haの覆砂工を実施。平成29年度は0.50haを予定
○事業期間：H5～30／全体計画：35ha



※赤…新規事業

●第11回全国都市改善改革実践事例発表会（振興局、IVUSA）

「カキ殻から広がる阿蘇海環境づくり活動」が京都府代表として出場（全国33自治体が改善事例を発表）。審査委員長から「行政ニーズが多様化する中、新しい行政のあり方」と評価された。

○日程：2月17日

○場所：広島県民文化センターふくやま



●カキ殻と竹炭を混合した土壌改良材を用いた栽培試験（振興局）

トマト、キュウリ、コマツナで試験栽培を実施。特に、トマト、キュウリについて、カキ殻と竹炭を混合した土壌改良材を用いた方が、果実収量や品質、生理障害の有無で勝る結果が出た。

●下水道事業、浄化槽設置補助（市、町）

●市町村森林整備計画の策定と適切な森林整備の実行監理（市、町）

※赤…新規事業